

串良

山宮神社春祭りで伝統文化を堪能



2月15日、串良町細山田の山宮神社で春祭りが開催されました。

400年以上の歴史を持つ山宮神社春祭りに奉納される芸能は、「正月踊り、かぎ引き、田打ち」からなっており、県の無形民俗文化財にも指定されています。当日は、神事のあと堂園、馬掛、生栗須棒踊り保存会の「正月踊り（棒踊り）」が奉納されたほか、雌鉤と雄鉤を引き合う「かぎ引き」では引き分け。また、太郎と次郎に扮する神官が、模型の牛に木製のワタイモガを引かせユーモラスに田をならす動きをする「田打ち」も奉納され、詰めかけた多くの見物客が、力強さあり、笑いあいの伝統文化を楽しんでいました。



吾平

校区内 22kmを完歩



2月14日、吾平町の鶴峰地区で「鶴峰校区ウォークラリー」が行われました。

これは、鶴峰小6年生が、小学生最後の思い出と同級生の強い絆を築こうと、卒業生の家を歩いて回るウォークラリーを企画したものの。当日は、6年生21人が22kmの距離を卒業生全員の家を回りながら歩き、一人の脱落者もなく完歩しました。

鹿屋

勇壮な伝統行事「かぎ引き祭り」が開催



2月15日、上高隈町の中津神社で、豊作と林業の発展を祈念する「かぎ引き祭り」が開催されました。

3本勝負のうち2勝したほうが勝利となり、勝った地区にその年の豊作が約束されると言われている「かぎ引き祭り」は、かぎ状になった雄木と二股になった雌木の2本の神木を絡ませ、上高隈地区と下高隈地区に分かれて引き合う勇壮な伝統行事で、約350年以上の歴史を持ち、市の無形民俗文化財にも指定されています。

ほら貝や太鼓が鳴り響く中、合図に合わせて、両地区の住民が威勢の良い掛け声とともに引き合った結果、雌木を持ち込んだ上高隈地区が、見事2連勝を飾りました。

また、かぎ引きの前には、棒踊りなどの奉納も行われました。

大隅の古墳をめぐるツアーが開催



2月21日、大隅半島全域で「大隅半島の古墳をめぐる再発見モニターツアー」が開催されました。

これは、全国でもまれにみる原型のままの豊かな古墳群が残る大隅を再発見しようといわれたもので、33人が参加。当日は、大隅半島の古墳や資料館などをバスでめぐり、参加者は「意外と知らなかった」などと話し、大隅半島の歴史の重みを感じていました。